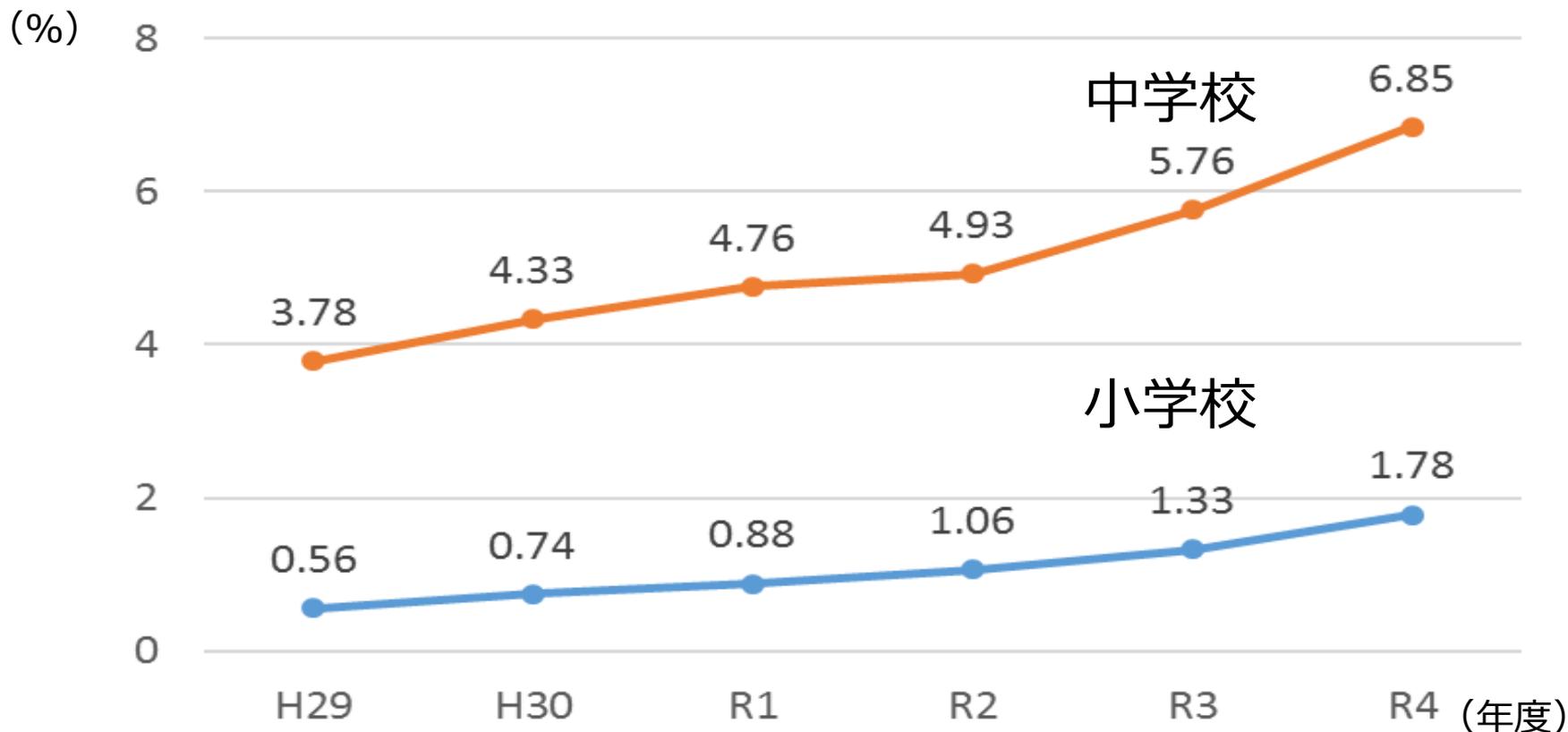


不登校児童・生徒への支援の推進

東京都教育庁総務部・人事部・指導部・地域教育支援部

東京都における不登校の現状

小・中学校の不登校出現率（※）の推移



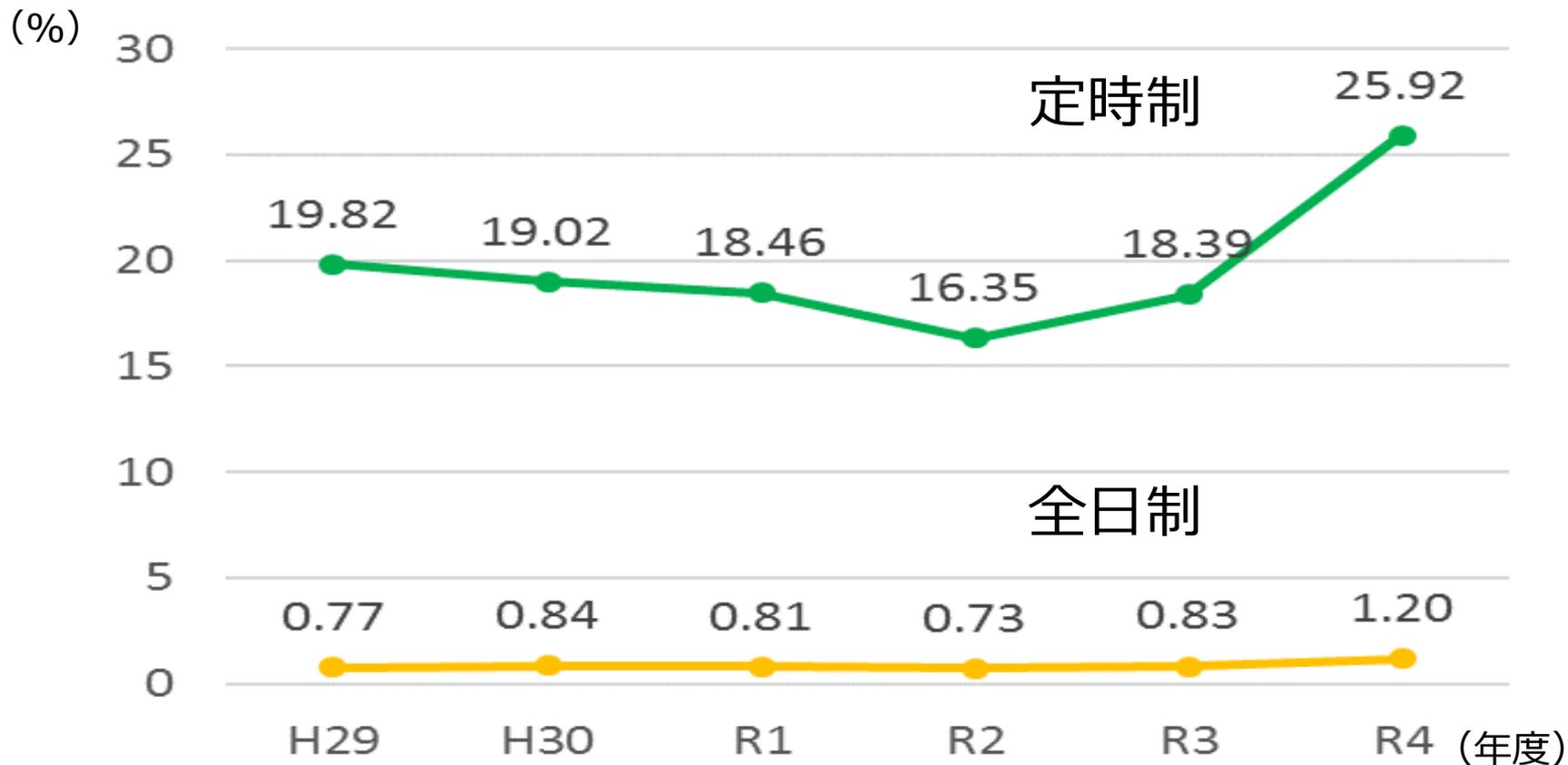
増加傾向

(※) 不登校出現率：不登校児童・生徒数/児童・生徒総数×100

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

東京都における不登校の現状

高等学校の不登校出現率の推移



昨年度より増加

(※) 不登校出現率：不登校児童・生徒数/児童・生徒総数×100
児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

これまでの取組

- 1 不登校児童・生徒への対応を示したガイドブックや校内研修資料を作成し、小・中学校に配布
- 2 不登校を生まない魅力ある学校づくりのモデル校（中学校）を指定
- 3 区市町村が設置する教育支援センターの充実を図るため、経費を支援
- 4 フリースクールに通う児童・生徒の支援ニーズを把握するための調査研究の実施
- 5 スクールカウンセラーを全小・中・高等学校（全課程）に配置

今年度の取組

不登校児童・生徒

一人一人の状況に応じた支援の強化



- 1 校内別室指導支援員の配置
- 2 不登校対応専門教員の配置
- 3 不登校対応事例のデータベース化
- 4 人間関係づくりのためのプログラムの実施
- 5 スクールソーシャルワーカー等の配置
- 6 体験プログラムの提供
- 7 仮想空間による居場所の提供
- 8 フリースクール調査研究の実施

新規

1 校内別室指導支援員の配置

小

中

高

校内に居場所を
確保し、支援員による
相談、学習指導等を
実施



・小・中学校 209校

チャレンジスクール等の高校 17校

新規

2 不登校対応専門教員の配置

中

不登校対応の核となる教員を新たに配置し、個別学習支援等を実施

- ・ 中学校 20校



新規

3 不登校対応事例の データベース化

小

中

不登校児童・生徒の
効果的な対応事例を
データベース化する
ことにより、
教職員の対応力を向上

フリーワード指定

複数の単語をスペース区切りで指定できます。

フリーワード [すべて含む](#)

除外する単語 [すべて含まない](#)

(類義語) 含む 含まない

[このページの先頭へ](#)

項目指定

[検索する](#)

(参考) 消費者庁事故情報データベースシステム

- ・ 都教育委員会WEBサイトに掲載

新規

4 人間関係づくりのための プログラムの実施

高

人間関係づくりを
促すグループでの
演習を通して、
不登校を未然防止



- 全ての定時制課程
希望する全日制課程

拡充

5 スクールソーシャルワーカー等 の配置

S S Wの定期的な
学校訪問等を通して、
教員との連携を強化
する区市町村への補助
を拡充

専門性の高いY S Wを
増員し、都立学校への
支援を充実

小

中

高



新規

6 体験プログラムの提供

学校外

小

中

高

不登校児童・生徒が
参加しやすく
効果的な体験活動の
プログラムを構築し、
社会的自立を支援



- ・ 10 プログラム 計200人程度

拡充

7 仮想空間による 居場所の提供

学校外

小

中

高

仮想空間（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）を活用し、交流や学習の場を提供



- ・小・中学生 順次拡大
- 高校生 都内4か所

拡充

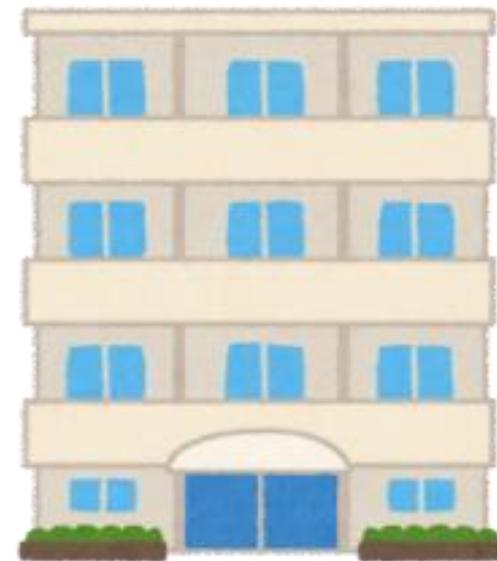
8 フリースクール調査研究 の実施

学校外

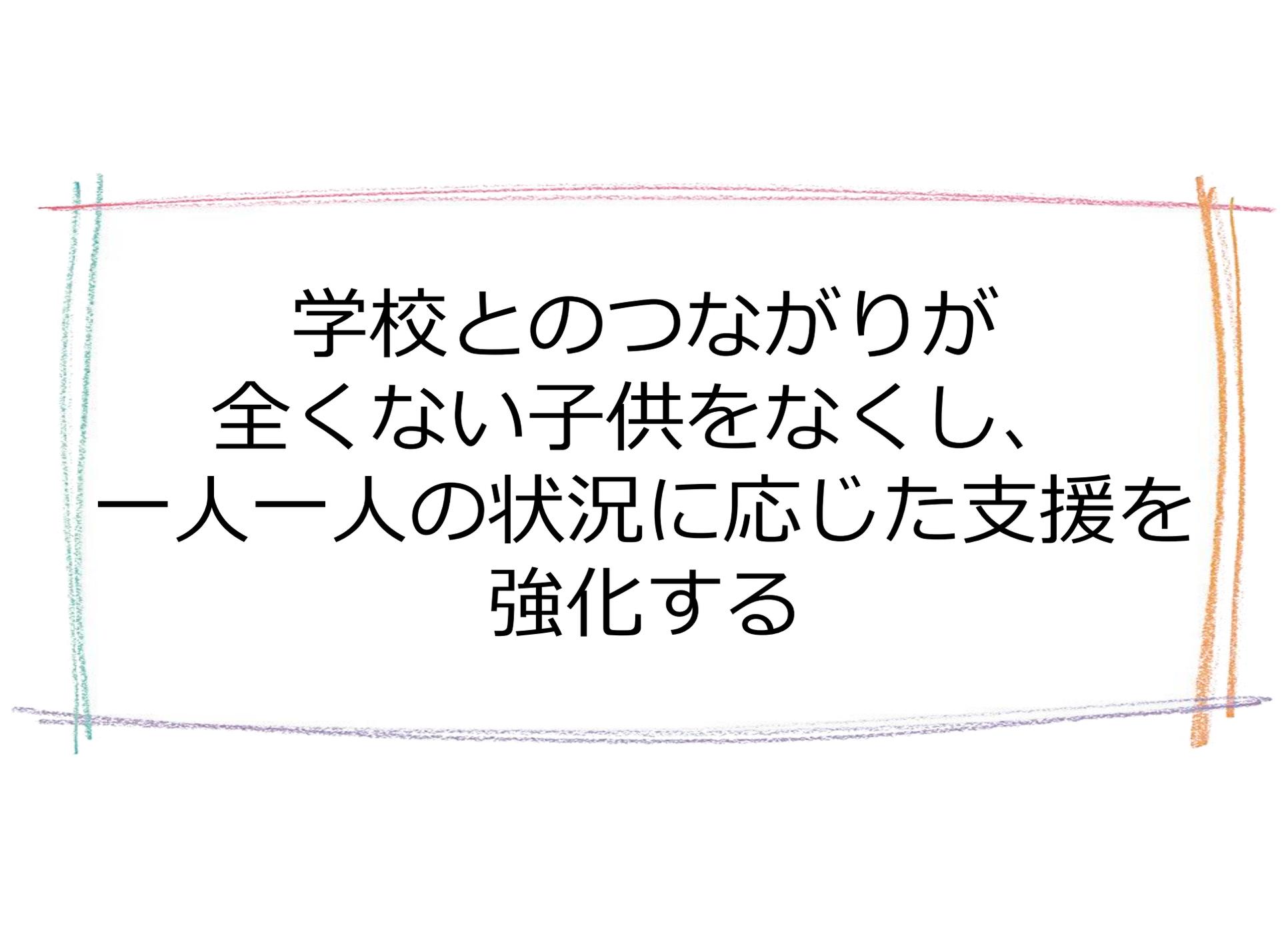
小

中

フリースクールに通う
児童・生徒や保護者の
ニーズ等を把握する
ための調査を実施



- ・ 保護者 1,000人
- ・ 一人当たり 2万円/月×12か月



学校とのつながりが
全くない子供をなくし、
一人一人の状況に応じた支援を
強化する